

箕面都市開発株式会社

平成27年度

# 通期業績予想

〔上半期決算反映版〕

平成27年12月

箕面都市開発株式会社



# 上半期決算に基づく通期業績予想の概要

## 1 平成27年度予算と通期業績予想を比較すると

- 通期業績予想では、予算編成時の見込みに比べ、売上高、営業利益、経常利益とも予算を上回る見込みであり、経営は順調です。

## 2 調停条項と比較すると

- 期末資金残高について、**調停条項の想定推移を上回る見込み**です。
- 平成24年度末に債務超過が解消された純資産額についても、**調停条項の想定推移を引き続き上回る見込み**です。
- 本業の利益を示す営業利益など、いずれの利益ベース(営業利益・経常利益・当期純利益)においても、**調停条項を上回る見込み**です。

## 3 今後の展望

- 今期は売上高、営業利益、経常利益、すべて予算を上回る予定で、調停条項も各利益ベースとも上回る順調な経営予想となっています。
- 平成27年4月より開始した駐車場事業の受託収入も予算を上回り順調です。今後もキャッシュフロー安定化のための経営努力を行います。



平成27年度

# 通期業績予想

# 1. 平成27年度通期業績予想

(単位:千円・%)

	平成27年度			平成27年度通期業績予想との比較			
	調停条項	予算額	通期業績予想	調停条項		予算額	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	108,000	120,000	121,376	13,376	12.4	1,376	1.1
営業利益	14,320	17,500	19,900	5,580	39.0	2,400	13.7
経常利益	12,460	15,501	17,901	5,441	43.7	2,400	15.5
当期純利益 (※)	6,089	7,835	9,173	3,084	50.6	1,338	17.1
期末資金残高	86,170	95,013	96,411	10,241	11.9	1,398	1.5
純資産額	15,789	28,210	29,548	13,759	87.1	1,338	4.7

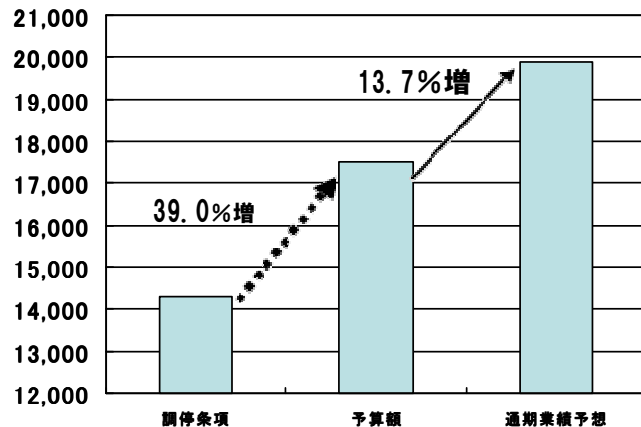
(※)法人税等調整額を除いています。

法人税等調整額とは・・・税務上の損金、益金で算定される課税所得と企業会計上の費用、収益で算定される当期純利益との差額を調整するものです。

通期業績予想では、すべての項目において、予算額を上回る予定です。

# 2. 平成27年度営業利益（本業利益）の比較

(千円)



調停条項、予算額ともに上回る予定となっています。

## 要因

新規駐車場事業収入や地権者モータープールの管理手数料の増加が大きな要因です。

### 3. 貸借対照表

(単位:千円)

	平成26年度 (平成26年9月30日現在)		平成27年度 (平成27年9月30日現在)		増減額
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
資産合計	511,202	100.0	521,052	100.0	9,850
流動資産	105,783	20.7	113,950	21.9	8,167
固定資産	405,419	79.3	407,102	78.1	1,683
有形固定資産	375,950	92.7	372,948	91.6	▲3,002
無形固定資産	296	0.1	296	0.1	0
投資その他の資産	29,173	7.2	33,858	8.3	4,685
負債合計	474,487	92.8	466,874	89.6	▲7,613
流動負債	24,619	5.2	24,250	5.2	▲369
固定負債	449,868	94.8	442,624	94.8	▲7,244
純資産	36,715	7.2	54,178	10.4	17,463
純資産(繰延税金資産除く)	18,964	—	29,548	—	10,584

※繰延税金資産とは・・・将来の会計期間に帰属すべき税金費用(損金)を当期に前払いしたと考え、これを繰延処理することにより生じる資産のこと

## 4. 決算実績と予算・通期業績予想の対比

(単位:千円・%)

	平成26年度 (予算)		平成26年度 (決算)		平成27年度 (予算)		平成27年度 (通期業績予想)		増減率	
	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	金額	売上高 利益率	H26決算・ H27業績予 想対比	H27予算・ H27業績予 想対比
売上高	110,000	—	112,680	—	120,000	—	121,376	—	7.7	1.1
受託料収入	65,770	—	65,562	—	73,280	—	73,964	—	12.8	0.9
所有床賃貸収入	6,150	—	6,235	—	7,152	—	7,152	—	14.7	0
土地賃貸収入	21,600	—	22,156	—	22,348	—	22,618	—	2.1	1.2
受取手数料収入	2,480	—	2,910	—	2,420	—	2,711	—	▲6.8	12.0
文化・交流センター売上	14,000	—	15,817	—	14,800	—	14,931	—	▲5.6	0.9
営業利益	16,300	14.8	16,663	14.8	17,500	14.6	19,900	16.4	19.4	13.7
経常利益	14,252	13.0	14,435	12.8	15,501	12.9	17,901	14.7	24.0	15.5
当期純利益	—	—	12,704	11.3	—	—	—	—	—	—
当期純利益 (法人税等調整額除く)	7,605	7.0	8,019	7.1	7,835	6.5	9,173	7.6	14.4	17.1



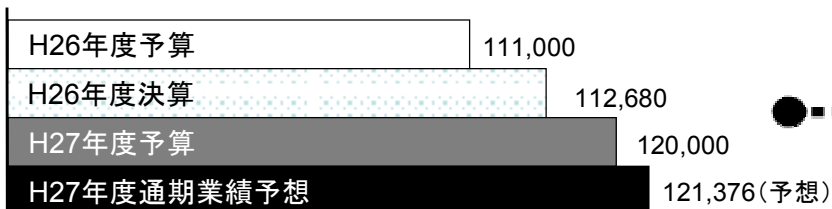
## 5. 売上高・利益ベースの推移

- ・平成26年度決算は、新規不動産事業の開始や文化・交流センターの利用料金収入の増加により、予算を上回る収益が確保できました。
- ・平成27年度は、新規駐車場事業受託による収益増加により、予算時に比べ売上高、営業利益、経常利益、すべての利益ベースとも上回る予定です。

### H26決算・H27予算と通期業績予想の比較・主な要因

#### ■売上高

(単位:千円)



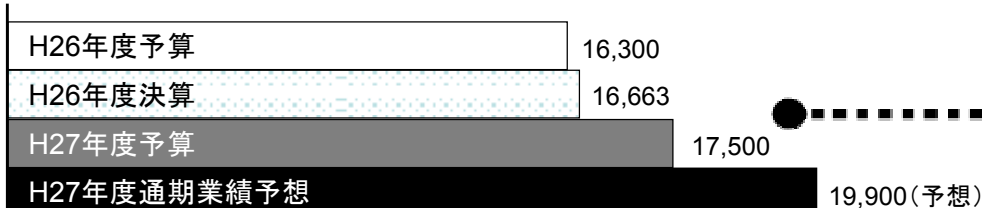
#### 決算比7.7%増

- ・新規駐車場事業受託による収益増加

#### 予算比1.1%増

- ・新規駐車場事業収入の好況
- ・地権者モータープールの売上増加

#### ■営業利益



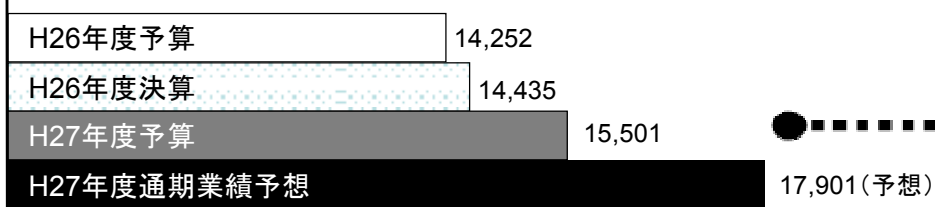
#### 決算比19.4%増

- ・売上高増加による

#### 予算比13.7%増

- ・売上高増加による

#### ■経常利益



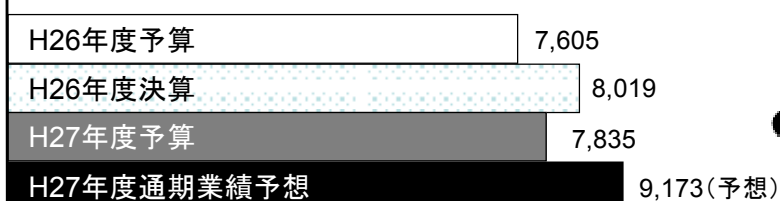
#### 決算比24.0%増

- ・営業利益の増益による

#### 予算比15.5%増

- ・営業利益の増益による

#### ■当期純利益



#### 決算比14.4%増

- ・経常利益の増益による

#### 予算比17.1%増

- ・経常利益の増益による

# 参考1：経営内容を判断するポイント

■ 貸借対照表や損益計算書で経営判断することも必要ですが、新たな投資や臨時的な支出に大きく左右されます。

## ★ 調停条項の着実な履行を判断するポイント

- ① 期末にどれだけの資金残高があるのか
- ② 純資産額が増加しているのか

-----▶ **資金計画で判断することが適切**

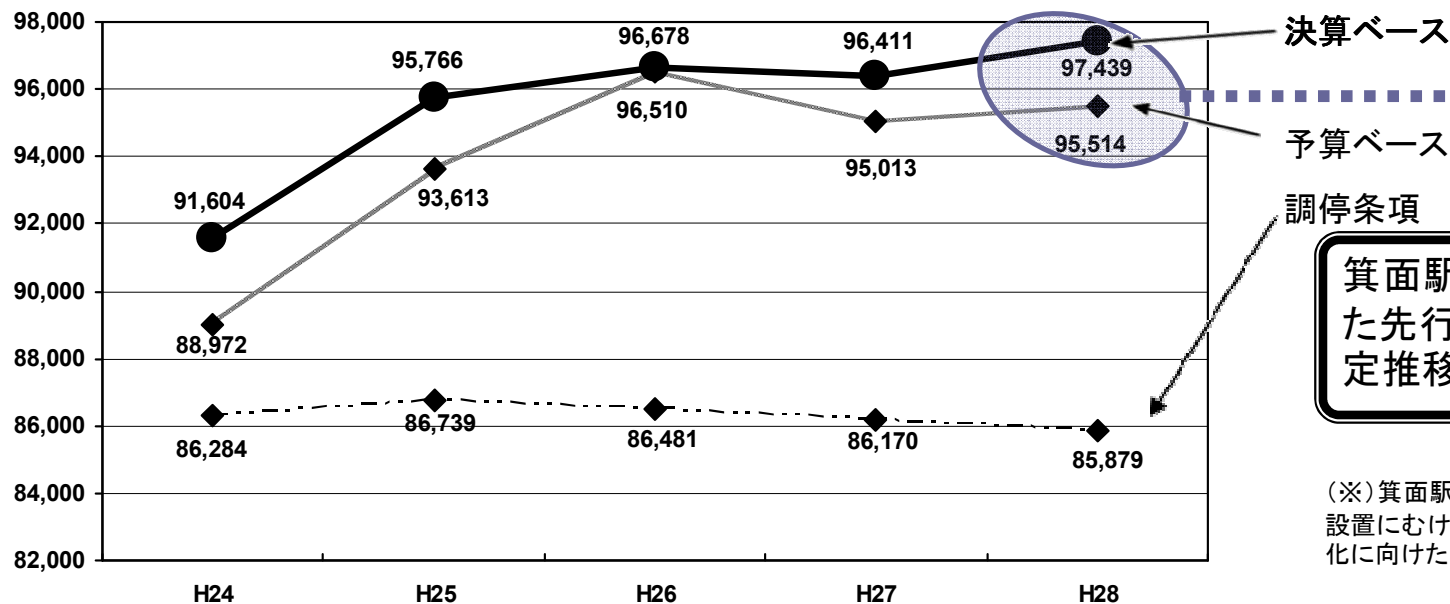
# 参考2：資金計画の見込み

## (1) 期末資金残高の推移

(単位：千円)

	各年度の予算・決算実績			平成27年度上半期決算からの予測	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
調停条項	86,284	86,739	86,481	86,170	85,879
予算ベース	88,972	93,613	96,510	95,013	95,514
決算ベース	91,604	95,766	96,678	96,411	97,439

(千円)



箕面駅前駐車場・駐輪場の建替えを見据えた先行投資<sup>(※)</sup>はあるものの、調停条項の推定推移を大幅に上回る予定です。

(※) 箕面駅前駐車場・駐輪場とみのおサンプラザ1号館ビル間の連絡橋設置にむけて、設置予定区域の区分所有権を取得しました。今後の事業化に向けた契約により期末資金残高が更に上昇する見込みです。

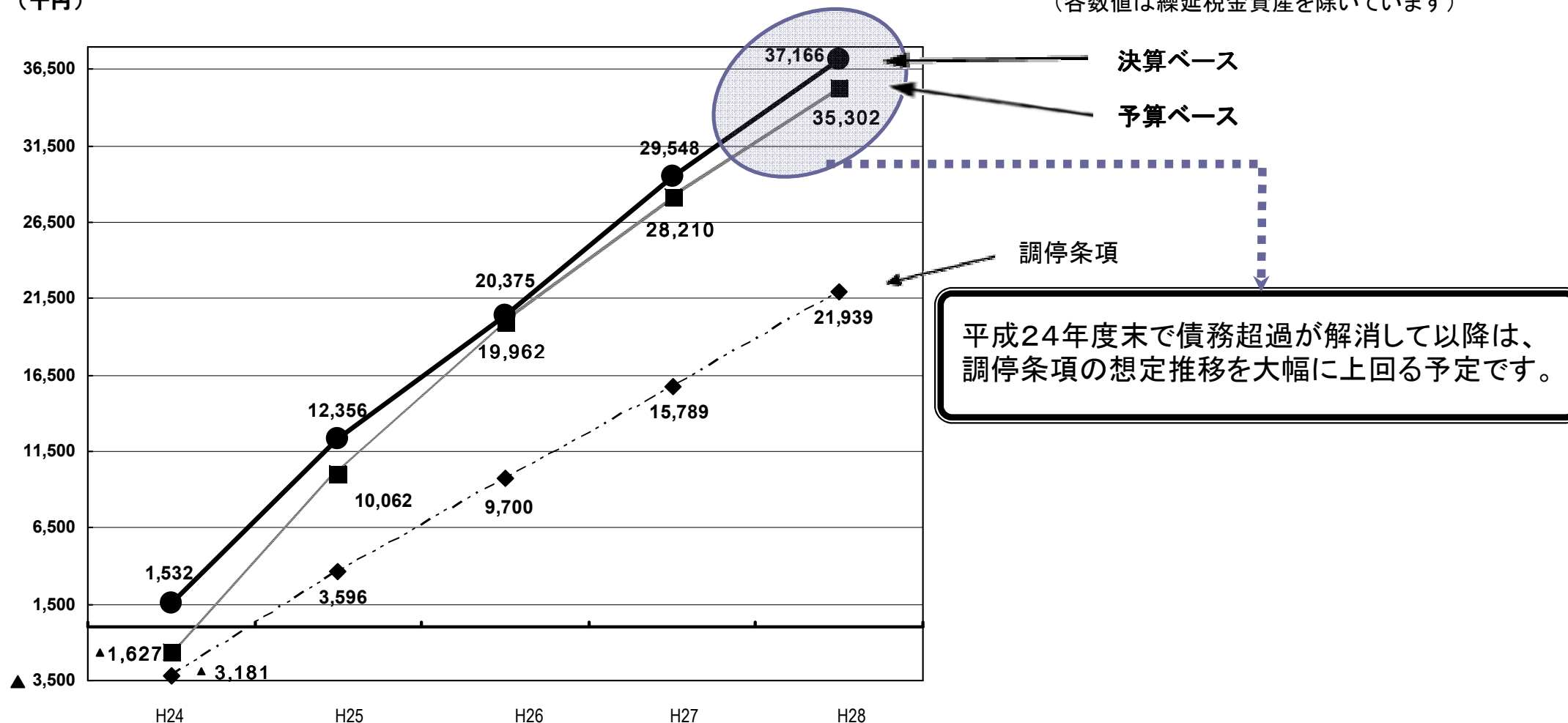
## (2) 純資産額の推移

(単位:千円)

	各年度の予算・決算実績			平成27年度上半期決算からの予測	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
調停条項	▲3,181	3,596	9,700	15,789	21,939
予算ベース	▲1,627	10,062	19,962	28,210	35,302
決算ベース	1,532	12,356	20,375	29,548	37,166

(千円)

(各数値は繰延税金資産を除いています)



# 参考3：事業別売上高の推移

